

その刀、KIYOMARO

生誕二〇〇年記念特別展

山浦清麿

萩に招かれた幕末の刀匠

平成25年12月21日[土]～平成26年2月9日[日]

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）年中無休、年末年始も開館

刀 銘 松萩城山浦正行造之 天保十三年八月日（部分）

観覧料／大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
〔団体割引〕20名以上20% 〔障がい者割引〕20%

後援／公益財団法人日本美術刀剣保存協会、山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局

KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、Fmψ エフエム山口

萩ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム萩

協力／生誕200年記念山浦清麿展実行委員会

萩博物館

山口県萩市大字堀内355番地
TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142
URL: <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>
E-mail: muse@city.hagi.lg.jp

その刀、KIYOMARO

清麿

山浦

山浦清麿(源清麿)は、文化10年(1813)信濃国小諸藩で生まれ、天保2年(1831)江戸に出て、後に幕府の講武所頭取となる窪田清音の元で作刀に励みました。天保13年(1842)萩藩に招かれ、2年間ほど萩城下に居住し作刀に従事しました。この間、清麿は萩藩の天保改革を主導した村田清風や萩藩の絵師をつとめた磯西涯らの萩藩士たちと親しく交流しました。

清麿は萩での貴重な経験を糧として再び江戸へのぼり、江戸四谷に鍛冶場を構え、たくさんの名刀を鍛刀しました。このころから清麿の名声は響き渡り、鎌倉時代の名工「正宗」にあやかって、「四谷正宗」と称されました。清麿の刀は多くの人々の求めるところとなりましたが、人気絶頂のうちに安政元年(1854)自らの命を絶ちました。

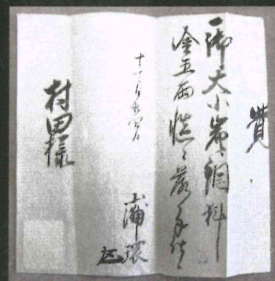
清麿の作刀した刀は、今でも多くの人々を魅了しています。清麿の選りすぐりの名刀約40点を、西日本で初めて一堂に展示します。

太刀 銘 為窪田清音君 山浦環源清麿製 弘化丙午年八月日 (重要美術品・長野県指定)

太刀 銘 為窪田清音君 山浦環源清麿製 弘化丙午年八月日 (重要美術品・長野県指定) (部分)



短刀 銘 恭呈 西涯磯先生 於長門國正行製 (部分)



清麿自筆の炭・銅料の受領書 (村田清風記念館蔵)



短刀 銘 恭呈 西涯磯先生 於長門國正行製



刀 銘 於萩城山浦正行造之 天保十三年八月日 (部分)

刀 銘 於萩城山浦正行造之 天保十三年八月日

於萩城山浦正行造之

特別講演会

①「萩招聘によって磨かれた清麿」

日時：1月18日(土) 午後1時30分～
会場：萩博物館講座室
講師：渡邊妙子
(公益財団法人佐野美術館館長)

②「日本刀あれこれ」

日時：2月2日(日) 午後1時30分～
会場：萩博物館講座室
講師：國廣浩典
(山口県銃砲刀剣登録審査員)

①②は定員80名(当日午後1時受付 先着順)

開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日／なし(年中無休、年末年始も開館)

駐 車 場／有料 普通自動車(軽自動車を含む)66台(1回300円)

大型自動車(マイクロバスを含む)7台(1回1,000円)

※ただし萩市民は無料

観 覧 料／大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

[団体割引]20名以上20% [障がい者割引]20%

交通アクセス

- ◎JR東萩駅よりタクシー10分／徒歩30分
- ◎JR新山口駅よりバス70分(萩バスセンター下車、徒歩20分)
- ◎萩・石見空港より乗合タクシー約70分(予約制 前日までに申込が必要)
- ◎山口宇部空港より乗合タクシー約90分(予約制 前日までに申込が必要)
- ◎萩バスセンターよりまあるバス 西回り11分「萩博物館前」下車すぐ
- ◎中国自動車道美祿東JCT→小郡萩道路(無料) 絵堂ICより25分



萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
TEL 0838-25-6447 FAX 0838-25-3142
URL <http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/>
E-mail muse@city.hagi.lg.jp

